

架空のキャラクターを作り上げるエクササイズを試み  
ーインプロの理念に基づいてー

大島ひでこ  
(インプロヴァイザー／日本語教師)

このワークショップでは、インプロに基づいた活動をしながらか、キャラクターを作り上げる体験をし、その中にある語学学習の要素について検討したい。ここでいうインプロは、即興演劇のージャンルを指すものとするが、その活動に対する解釈はさまざまである。今回は Keith Johnstone がインプロに不可欠であると唱えた "Give your partner a good time" (相手を楽しませよう)、および "Make mistakes and stay happy." (失敗してもへっちゃらでいよう) との理念を体感しながら、架空のキャラクターを生み出すエクササイズを試みる。

即興演劇では、事前に台本を用いて稽古することなく舞台に上がる。物語の筋は、そこに居る者が協力し、その場で生まれるものを都度共有しながら、紡ぎ上げられていく。独りよがりや強引に進めたり、躊躇して固まったりしては、共に歩みを進めることはできない。また、たとえ共に歩んだとしても、満足のいく結果にたどり着けない場合もある。インプロとは、常に失敗するリスクを孕んでいるが、それを楽しむのが醍醐味であるとも言える。そしてこのことは、語学を学ぶときの態度と共通すると言えるのではないだろうか。学習中の言語でコミュニケーションを図ろうとすれば、間違えるリスクは避けられない。しかし、間違いを恐れて黙っていても、習得は進まない。リスクに挑み、待ったなしで勝負に出る必要があるのだ。そして、それを楽しめるなら、語学の学習は楽しいものになるはずだ。

架空のキャラクターを生み出す活動は、独力で素晴らしいものを作り出そうとすると行き詰ってしまうかもしれないが、気負わずにお互いを受け入れ合うことにより、存外スムーズにできるものである。その感覚が学習環境に生かされ、役立てられることを望んでいる。